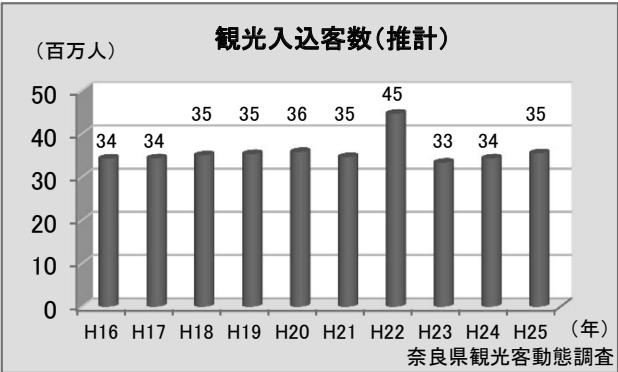


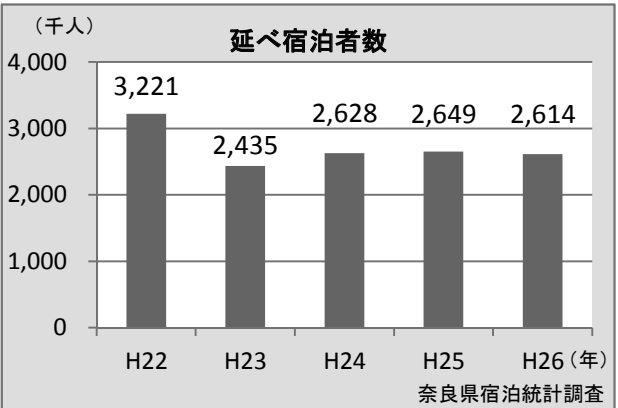
主担当部局(長)名	観光局長 福井 義尚
関係部局(長)名	知事公室長 村井 浩、地域振興部長 一松 旬、南部東部振興監 辻本 浩司、くらし創造部長 中 幸司、景観・環境局長 中 幸司、産業・雇用振興部長 森田 康文、農林部長 福谷 健夫、県土マネジメント部長 加藤 恒太郎、まちづくり推進局長 金剛 一智、教育長 吉田 育弘

重点課題	I 経済の活性化 2 観光の振興
目指す姿	新しい魅力づくりを進め、ゆっくりじっくりと楽しめる観光県を目指します。

1. 政策課題の進捗状況

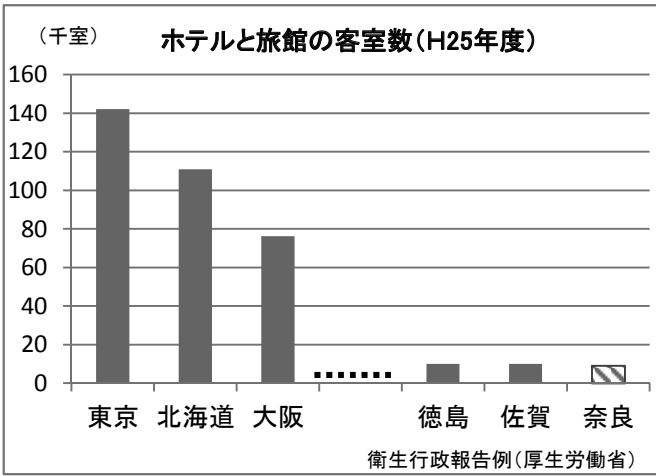
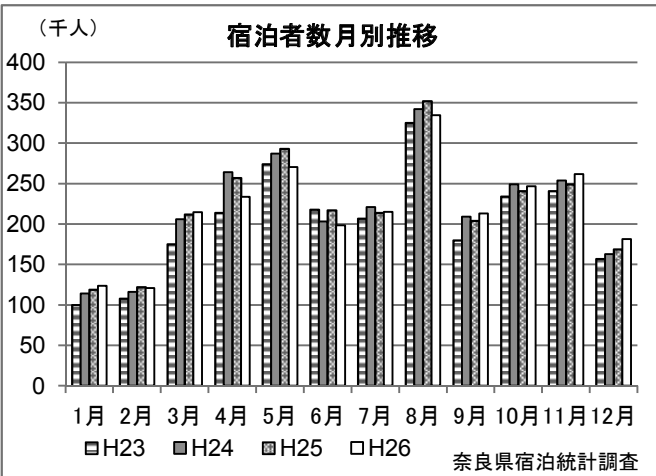


目標	平成27年までに、観光入込客数を4,000万人にします。(H24年:3,429万人)
取組	奈良県への観光客の誘致活動を行いました。
成果	首都圏観光キャンペーン、冬期キャンペーン、海外でのプロモーションの実施等により、観光入込客数は、平成24年、25年と増加傾向にあります。



目標	平成27年までに、延べ宿泊数を300万人にします。(H24年:263万人)
取組	奈良県への宿泊観光客の誘致活動を行いました。
成果	延べ宿泊者数は、平成26年4月から6月は消費税引き上げや夏場の天候不順により減少しましたが、秋以降は首都圏観光キャンペーン、冬期キャンペーン、海外でのプロモーションなどの取り組みにより前年同期と比較して増加に転じました。

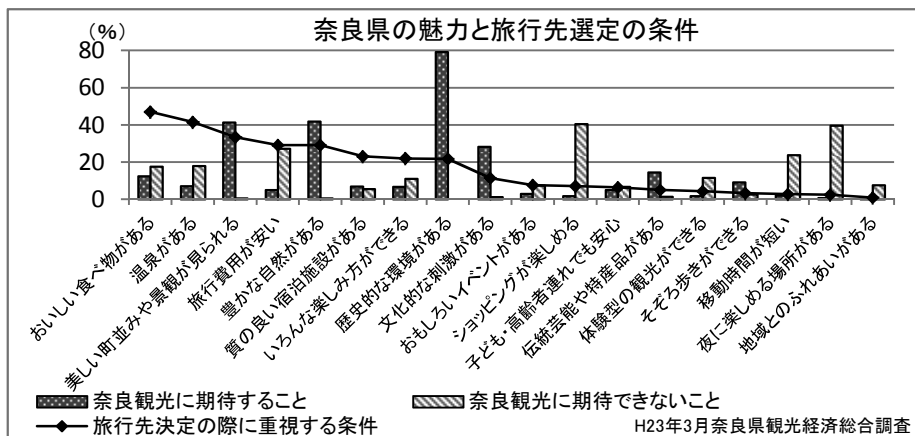
2. 現状分析



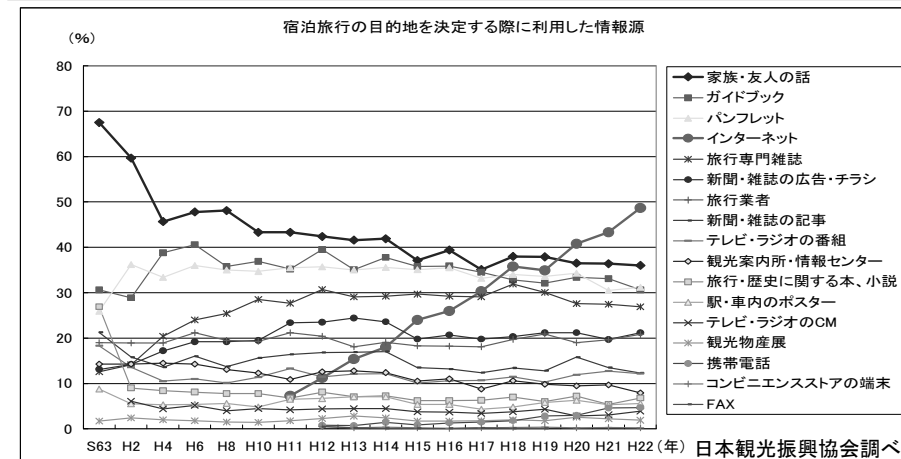
・12月から2月、6・7月がオフシーズンになっており、宿泊者数が低迷しています。

・特に1、2月は8月の1/3から1/4程度にまで落ち込んでいます。

宿泊施設の施設数・客室数ともに少なく、客室数は全国最下位です。



・旅行先の選定条件として重視されるものは、「おいしい食べ物」、「温泉」、「美しい町並みや景観」等です。そのうち、「美しい町並みや景観」については、奈良での観光にあたって期待が大きい項目です。
 ・また、奈良での観光では「歴史的環境」への期待が大きい一方、「ショッピング」や「夜に楽しめる場所」への期待は低いです。



・宿泊旅行の目的地を決定する際の情報源として、かつては家族や友人からの口コミが大半を占めていましたが、近年はその割合が低下しています。
 ・インターネットを情報源として利用する割合が急増しています。

奈良県の持っている強み		内部(内的要因)	奈良県の抱えている弱み
目的達成のプラス要因	1 3つの世界遺産、国宝・重要文化財指定件数全国第3位。中国や韓国との深い交流の歴史に裏打ちされた「ゆかり」を示す遺産を含めた文化財と豊富な歴史的資源。		11 宿泊施設の施設数・客室数ともに少なく、客室数は全国で最下位
	2 特に平城宮跡～奈良公園エリアは文化的・歴史的資産が集積し、多くの観光客が来訪		12 12月から2月、6・7月がオフシーズンで宿泊客も少ない
	3 ミシュラングリーンガイドに観光地「奈良」の三つ星を始め60箇所に星がつく等、奈良の観光地としての魅力が存在		13 県内に常時賑わいを創出している場所が不足
	4 ミシュランレッドガイドにおいて16軒に星がつかなど、食の観光素材が充実		14 奈良らしい土産物が少ない
	5 四季折々の変化が楽しめる豊かな自然景観		15 観光トップシーズンを中心に、奈良公園等観光地周辺の道路は渋滞が慢性化
	6 古事記完成1300年を契機とした関連イベントでの古事記ゆかりの他県との連携など、「記紀・万葉」を活用する機運が醸成		16 観光施設等の案内表示、バリアフリー対応の困難さ
	7 奈良に事務所があるUNWTOアジア太平洋センター関連の国際会議等の誘致		17 大阪、京都への交通アクセスがよいため、通過型（日帰り）観光が中心
	8 東アジア地方政府会合を契機とした東アジア諸国との深いつながり		18 国内外に、奈良の奥深い魅力、歴史的背景、文化などが充分伝わっていない
	9 欧米からの観光客は、歴史・文化のある奈良に高い関心		19 県内観光における自転車の利用は低水準
	10 中国陝西省・韓国忠清南道・スイスベルン州との友好提携及びベトナムフートー省との友好交流		20 中南和地域へのアクセスが悪い
奈良県への追い風		外部(外的要因)	奈良県への向かい風
a 平成24年度に古事記編纂1300年を迎え、国民の記紀・万葉集に対する関心の高まり		h 奈良公園の観光振興に関連して国の規制が多く存在 i 国内外からの誘致競争の激化 j 少子化による児童、生徒数の減少	
b 「歴女」ブームなど、歴史に関心のある消費者層の拡大			
c 国の経済政策による景気回復傾向			
d LCCの普及、ビザ発給要件の緩和並びに円安による外国人観光客の増加傾向			
e 東南アジアからの訪日観光客が急増			
f 市民参加型マラソンなどスポーツイベントの人気の高まり			
g 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定			
目的達成のマイナス要因		目的達成のマイナス要因	

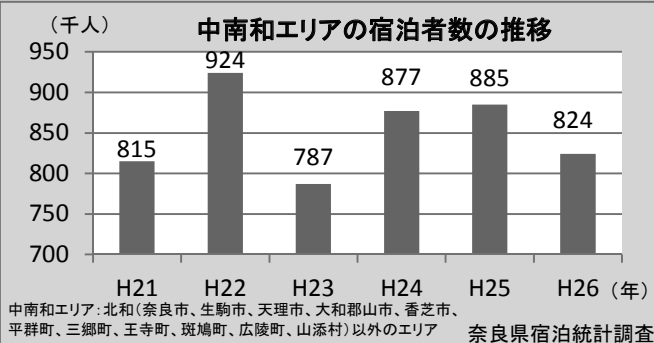
3. 施策課題の進捗状況

戦略1 意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進します。

主担当課(長)名 観光産業課長 山口 恵美

戦略目標

- ▶平成27年までに、観光入込客数を4,000万人にします。(H24年:観光入込客数3,429万人)
- ▶平成27年までに、延べ宿泊者数を300万人にします。(H24年:延べ宿泊者数263万人)



取組

中南和エリアを含めた周遊観光の促進に取り組みました。

成果

中南和エリアの宿泊者数は、東日本大震災等の影響により平成23年は大幅に減少したものの、イベントの開催等に取り組んだ結果、平成24年以降は回復傾向にあり、平成26年は対平成21年比で1.1%増加となりました。

主な取組指標等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	担当課名
宿泊産業の育成・支援				
制度融資(宿泊関連)利用者数(人)	3	6	4	企業立地推進課
奈良の美味しい「食」づくり(食の魅力向上)				
奈良フードフェスティバル来場者数(千人/日)	7.4	6.6	8.6	マーケティング課
記紀・万葉プロジェクトの推進				
民間団体による記紀・万葉関連のイベントの支援件数(件)	20	17	20	ならの魅力創造課
祈りの回廊～秘宝・秘仏特別開帳の推進				
秘宝・秘仏特別開帳実施社寺数(社寺)	60	61	61	ならの魅力創造課
中南和の魅力振興				
やまと花ごよみ来場者数(千人)	108	116	127	公園緑地課
自転車を活用した取り組みの推進				
広域的な自転車利用ネットワークにおける案内誘導及び注意喚起サイン整備状況(%)	23	66	77	道路環境課
自転車の屋内保管や自転車搬送サービス等が可能な「サイクリストにやさしい宿」認定宿数(件)	50	55	58	道路環境課
秋季休日における自転車周遊者数(台/日)(計測箇所:10カ所)	5,580	5,054	5,715	道路環境課

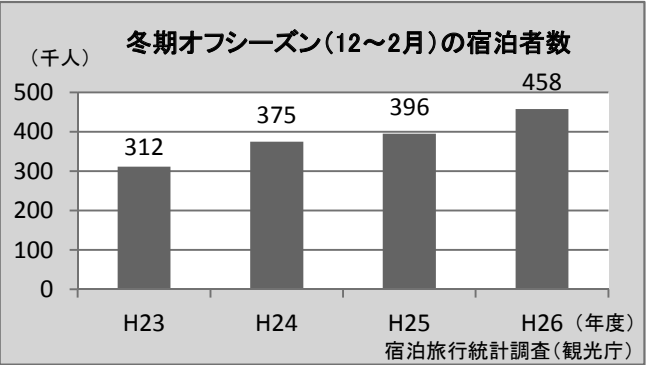
これまでの成果

- ・大古事記展を開催し、10万人が来場しました。(H26年10月18日～12月14日、53日間)
- ・「記紀・万葉」シンボルイベントとして、古事記朗読大会及びこども古事記かるた大会を開催。古事記編纂・完成の地としての存在感を全国にアピールしました。(H27年1月24日)
- ・東京において、全国の記紀ゆかりの各県(三重、和歌山、島根、宮崎)と連携したシンポジウムを開催し、800人が来場しました。(H27年1月31日)
- ・市町村の文化観光戦略等の推進に資する史跡等の積極的な整備活用を支援しました。(H26年度8件)
- ・県営プール跡地活用プロジェクトにかかるホテル事業者の公募を先行して実施し、森トラスト株式会社を優先交渉権者として選定しました。
- ・近年流行の簡易宿所(ゲストハウス)で、県が実施している制度融資を活用し、約90名(H22～H26年度)収容定員が増加しました。
- ・奈良フードフェスティバル2014を奈良公園、馬見丘陵公園で開催し、225千人が来訪しました。
- ・奈良の新しい贈り物(土産物)として平成26年度に5商品を認定し、平成24・25年度分と合わせ20商品を販売しました。

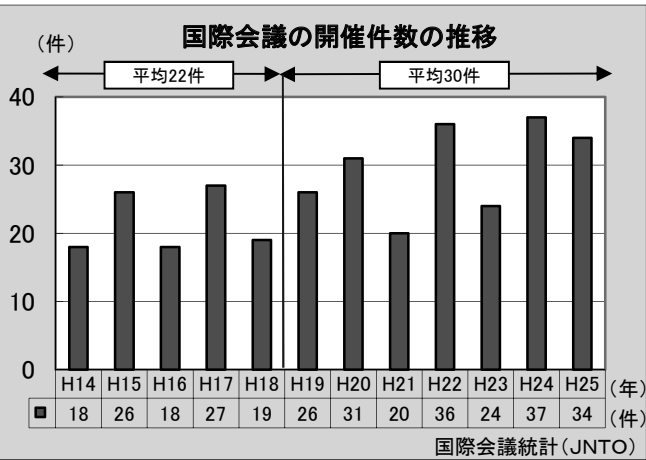
戦略2 旅行商品づくりやイベントの充実により、宿泊オフシーズンの解消を図ります。

主担当課(長)名 観光産業課長 山口 恵美

戦略目標	▶地域の特性を活かしたイベント等の開催により、冬期オフシーズン(12～2月)の観光入込客数及び延べ宿泊者数を増やします。(冬期オフシーズン観光入込客 H23年度:905万人 冬期オフシーズン宿泊者数 H23年度:31万2千人)
------	---



取組	首都圏観光キャンペーン、冬期キャンペーン、イベントの実施など、オフシーズンの宿泊観光客の誘致に取り組みました。
成果	冬期オフシーズン(12～2月)の宿泊者数は、平成24年度に北和地域で実施した冬期キャンペーン「奈良うまし冬めぐり」を平成25年度から中南和地域を含む県内全域に拡大したこと、また、イベントの実施等により、平成26年度も着実に増加しました。



取組	国際会議の誘致活動を行いました。
成果	奈良県内における国際会議の開催件数は、平成14年から平成18年の5年間は平均で年間22件でしたが、国際会議の誘致に努めた結果、平成19年から平成25年の7年間は平均で年間30件に増加しました。

主な取組指標等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	担当課名
旅行商品・ツアー造成の促進				
県が造成した旅行商品企画の販売数(人)	2,900	5,353	5,970	観光産業課 奈良公園室
オフシーズンにおける誘致促進				
コンベンション支援件数(件)	248	276	258	観光産業課
奈良だからこそできる音楽祭の開催				
ミュージックフェストなら来場者数(千人)	38	62	83	文化振興課
スポーツツーリズムの推進				
全国高校ラグビー出場校の県内での延べ宿泊者数(人)	5,212	3,997	5,074	観光産業課
奈良マラソン外国人エントリー数(人)	52	133	235	スポーツ振興課

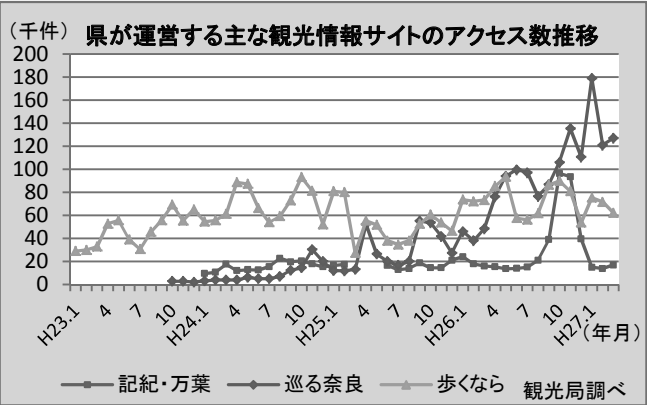
これまでの成果

- ・冬期誘客キャンペーン「奈良うまし冬めぐり」は、前年に引き続き県内全域への観光客誘致を目指すとともに、首都圏のみならず九州圏においても広報展開を行ったこと、春日大社第六十次式年造替奉祝行事関連の商品が好評なこともあり、商品販売数が約2.7倍になりました(H25年度:4,474人 → H26年度:11,936人)。
- ・コンベンション誘致の活動(主要大学への誘致活動等)を強化したことにより、コンベンション支援件数は、平成24年度の248件(延べ宿泊者数28,034人)から平成26年度は258件(延べ宿泊者数 29,873人)と約6.5%増加しました。

戦略3 ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、国内外からの観光客及びコンベンションの誘致を推進します。

主担当課(長)名 観光プロモーション課長 林 成光

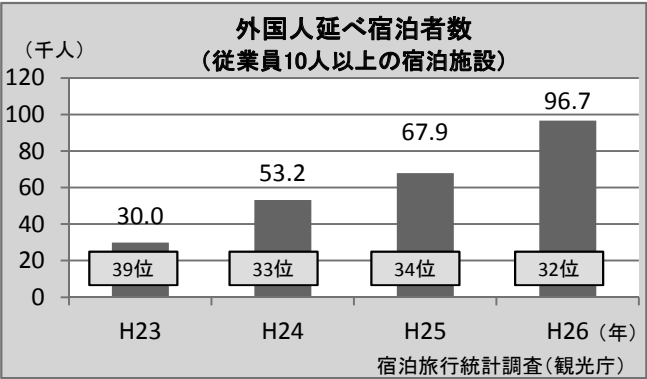
戦略目標 ▶平成27年までに、観光入込客数を4,000万人にします。(H24年:観光入込客数3,429万人)



取組 インターネットを活用した観光情報発信に取り組みました。

成果

- ・奈良県が運営する「なら記紀・万葉」、「巡る奈良」、「歩くなら」などの観光情報発信のためのインターネットサイトは、開設以来、着実にアクセス数が増加し、定着しています。
- ・大古事記展の開催に伴い、平成26年10月・11月の「なら記紀・万葉」へのアクセス数は大幅に増加しました。



取組 外国人宿泊観光客の誘致活動に取り組みました。

成果

奈良県での外国人延べ宿泊者数は、全国的な訪日外国人客数の増加(H25年:10,363千人→H26年:13,413千人(全国))を受けて、平成25年の67,890人(全国34位)から平成26年の96,710人(全国32位)と大幅に増加しました。

主な取組指標等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	担当課名
首都圏からの誘客の促進				
奈良まほろば館の入館者数(千人)	207	211	299	観光産業課
奈良に関する情報掲載出版物数(千部)	2,035	3,343	15,467	ならの魅力創造課
中南和・東部地域の観光情報発信機能強化				
JAならけんまほろばキッチン内観光案内所の利用客数(人)	—	45,983	43,320	観光プロモーション課
プレミアム宿泊旅行券の発行枚数(枚)	20,000	23,000	25,200	観光産業課
官民一体となった外国人観光客の誘致				
奈良県の外国人訪問者数(千人)	285	456	657	観光プロモーション課
友好提携先と連携した観光交流の推進				
東アジア地方政府会合参加地方政府数(地方政府)	64	64	66	国際課

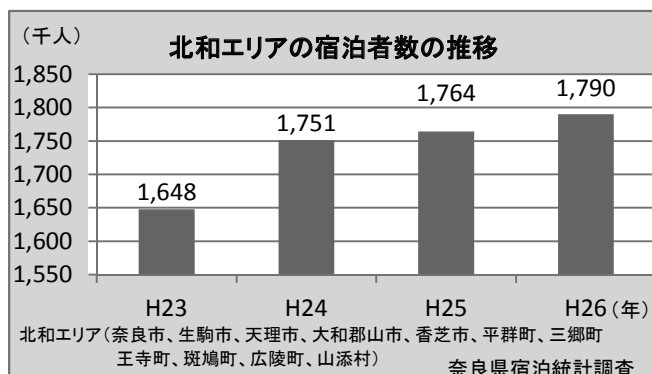
これまでの成果

- ・橿原考古学研究所附属博物館で開催した特別展「弥生時代の墓」(H26年4月～6月)に11,303人が、特別展「飛鳥宮」(H26年10月～11月)に10,096人が来場しました。
- ・奈良に事務所があるUNWTOアジア太平洋センター関連の国際会議等を誘致しました。(H27年12月に「(仮称)UNWTOシルクロード会議」の開催決定)
- ・「祈りの回廊 秋冬版」(H26年9月～3月)及び「祈りの回廊 春夏版」(H27年3月～9月)を作成し、秘宝・秘仏の特別開帳等の社寺情報を発信しました。

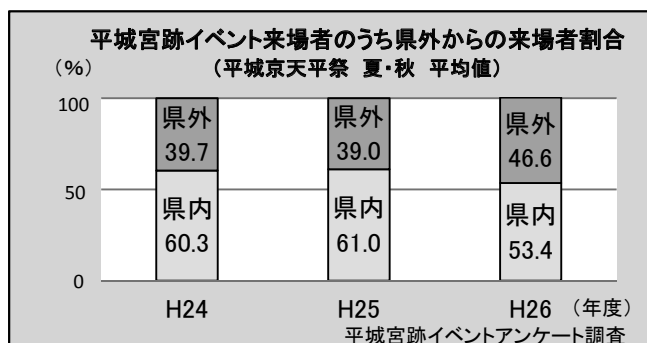
戦略4 地域資源を活用した観光基盤の整備とにぎわいづくりを推進します。

主担当課(長)名 奈良公園室長 中西 康博

戦略目標	▶奈良公園の魅力を向上させる施策を推進し、「世界に誇れる公園」を目指します。 ▶平城宮跡歴史公園の整備を促進し、わが国を代表する歴史文化遺産である特別史跡平城宮跡の一層の保存活用を目指します。
------	--



取組	奈良公園の整備を進めるとともに、オフシーズンを中心に宿泊客の誘客を図りました。
成果	奈良公園観光地域活性化総合特区の指定を受け、奈良公園事務所の新築移転、吉城園の補修などを行い、観光オフシーズンのキャンペーン、イベント実施により、北和エリアの宿泊者数は増加傾向にあります。



取組	平城宮跡でのイベント開催によるにぎわいづくりに取り組みました。
成果	平城宮跡イベントの県外への広報周知に取り組んだ結果、来場者のうち県外から来場する人の割合は増加傾向にあります。

主な取組指標等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	担当課名
奈良公園基本戦略に基づく施策・事業の推進				
若草山焼き事業の観光客数(千人)	180	180	190	奈良公園室
なら瑠璃絵来場者数(千人)	371	370	426	奈良公園室
なら燈花会来場者数(千人)	862	918	904	奈良公園室
社寺等と連携した旅行商品への参加人数(人)	1,815	4,474	11,936	奈良公園室
ぐるっとバス(奈良公園ルート)のGW期間(休日)の平均利用者数(人/日)	1,154	1,733	1,362	奈良公園室
平城宮跡歴史公園の整備の促進とにぎわいづくり				
平城宮跡内で開催されたイベントの来場者数(千人)	141	134	146	平城宮跡事業推進室

これまでの成果

- ・なら燈花会、なら瑠璃絵、若草山焼き等は奈良のイベントとして定着しており、更なる工夫を進め、観光客数も増加傾向にあります。
- ・平城宮跡歴史公園朝堂院広場、朝堂院東側及び西側休憩所の整備が完了しました(H26年8月)。
- ・第一次大極殿院復原事業情報館が開館しました(H27年5月)。
- ・中和地域に位置する馬見古墳群と馬見丘陵の自然環境を保全・活用した広域公園「馬見丘陵公園」は平成24年度に全面開園し、県民と協働による花の公園づくりを推進するとともに、花を活かしたイベントを開催するなど利活用を図り、平成26年度の来園者数は93万人で、平成25年度より約27万人増加しました。

4. 平成28年度に向けた課題の明確化

＜政策課題の進捗状況＞

・首都圏での観光キャンペーン、冬期キャンペーン、海外でのプロモーションの実施等誘致活動の取り組みにより、観光入込客数は、平成24年、25年と増加傾向にあります。延べ宿泊者数は、平成26年4月から6月は消費税引き上げや夏場の天候不順により減少しましたが、秋以降はこれらの取り組みにより、前年同期と比較して増加に転じました。

＜施策課題の進捗状況＞

・中南和エリアの宿泊者数は、イベントの開催等に取り組んだ結果、平成24年以降は増加傾向にあり、平成26年は対平成21年比で1.1%増加となりました。
・大古事記展の開催に伴い、奈良県が運営するインターネットサイト「なら記紀・万葉」への平成26年10月・11月のアクセス数は大幅に増加しました。
・奈良県での外国人延べ宿泊者数は、平成25年の67,890人(全国34位)から平成26年の96,710人(全国32位)と大幅に増加しました。
・奈良公園観光地域活性化総合特区の指定を受け、奈良公園事務所の新築移転、吉城園の補修などを行い、観光オフシーズンのキャンペーン、イベント実施により、北和エリアの宿泊観光客は増加傾向にあります。

＜奈良県の持っている強み＞

1 3つの世界遺産、国宝・重要文化財指定件数全国第3位。中国や韓国との深い交流の歴史に裏打ちされた「ゆかり」を示す遺産を含めた文化財と豊富な歴史的資源。
2 特に平城宮跡～奈良公園エリアは文化的・歴史的資産が集積し、多くの観光客が来訪
3 ミシュラングリーンガイドに観光地「奈良」の三つ星を始め60箇所に星がつく等、奈良の観光地としての魅力が存在
4 ミシュランレッドガイドにおいて16軒に星がつくなど、食の観光素材が充実
5 四季折々の変化が楽しめる豊かな自然景観
6 古事記完成1300年を契機とした関連イベントでの古事記ゆかりの他県との連携など、「記紀・万葉」を活用する機運が醸成
7 奈良に事務所があるUNWTOアジア太平洋センター関連の国際会議等の誘致
8 東アジア地方政府会合を契機とした東アジア諸国との深いつながり
9 欧米からの観光客は、歴史・文化のある奈良に高い関心
10 中国陝西省・韓国忠清南道・スイスベルン州との友好提携及びベトナムフートー省との友好交流

＜奈良県の抱えている弱み＞

11 宿泊施設の施設数・客室数ともに少なく、客室数は全国で最下位
12 12～2月、6・7月がオフシーズンで宿泊客も少ない
13 県内に常時賑わいを創出している場所が不足
14 奈良らしい土産物が少ない
15 観光トップシーズンを中心に、奈良公園等観光地周辺の道路は渋滞が慢性化
16 観光施設等の案内表示、バリアフリー対応の困難さ
17 大阪、京都への交通アクセスがよいため、通過型(日帰り)観光が中心
18 国内外に、奈良の奥深い魅力、歴史的背景、文化などが充分伝わっていない
19 県内観光における自転車の利用は低水準
20 中南和地域へのアクセスが悪い

＜奈良県への追い風＞

a 平成24年度に古事記編纂1300年を迎え、国民の記紀・万葉集に対する関心の高まり
b 「歴女」ブームなど、歴史に関心のある消費者層の拡大
c 国の経済政策による景気回復傾向
d LCCの普及、ビザ発給要件の緩和並びに円安による外国人観光客の増加傾向
e 東南アジアからの訪日観光客が急増
f 市民参加型マラソンなどスポーツイベントの人気の高まり
g 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定

＜奈良県への向かい風＞

h 奈良公園の観光振興に関連して国の規制が多く存在
i 国内外からの誘致競争の激化
j 少子化による児童、生徒数の減少

＜強みで追い風を活かす課題＞

【重要課題】奈良の「食」の魅力向上に向けた効果的・継続的な取組の推進(4,c,e,g)
【重要課題】平城宮跡及び県内各地におけるにぎわいの創出や滞在型周遊観光の促進(1,2,3,5,6,a,b,c,d,e,f)
【重要課題】大宮通りや周辺の交通環境整備(2,3,c,d)
・歴史展示政策の推進と史跡・名勝飛鳥京跡苑池の整備(1,3,5,6,9,a,b)
・奈良の魅力の収集と効果的な情報発信(12,3,6,7,a,b)
・海外からの訪問客の取り込み(1,2,3,7,8,9,10,a,d,e)
・交通環境の充実を目指した取り組みの推進(2,5,a,c)
・スポーツイベントを活用した誘客の促進(2,5,f,g)

＜強みで向かい風を克服する課題＞

【重要課題】奈良公園基本戦略に基づく施策の推進(1,2,3,h)
・友好提携を活用した中国、韓国との観光交流の促進(10,i)
・UNWTOアジア太平洋センターと連携した国際会議の誘致(7,i)

＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞

【重要課題】宿泊産業の育成、支援(11,12,13,14,20,a,b,f,g)
【重要課題】県営プール跡地活用プロジェクトの推進(11,12,13,17,a,b,c,d,e,g)
【重要課題】中南和地域への宿泊観光客の誘致(11,12,16,20,a,b,c,f,g)
・奈良県交通基本戦略に基づく施策の推進(15,16,19,a,b,c)
・魅力ある県産品・土産物の開発と効果的なPRの実施(14,a,c,d)
・外国人観光客が周遊しやすい環境の整備(11,16,18,d,e)
・オフシーズン対策の推進(12,13,a,b,c,e,g)

＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞

・修学旅行の誘致促進(11,14,17,j)
・外国人に対し、奈良の奥深い魅力を発信できる通訳ガイドの育成(18,i)
・外国人観光客が滞在しやすい環境の整備(13,16,19,h,i)

5. それぞれの課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
【重要課題】奈良の「食」の魅力向上に向けた効果的・継続的な取組の推進	県産食材を活かしつつ、シェフや飲食店関係者と連携し、食や眺望を目的に訪れる方々の満足度を高める取組を実施します。
【重要課題】平城宮跡及び県内各地におけるにぎわいの創出や滞在型周遊観光の促進	・引き続き平城京歴史館の運営や、春・夏・秋それぞれに特色あるイベントを実施するとともに、オフシーズン等に民間主体の新たなイベントを支援し、平城宮跡でのにぎわいを創出します。 ・「巡る奈良」の一環として、秘宝・秘仏特別開帳をはじめとする「祈りの回廊」事業の充実と県内各地の持続的観光振興に向けた支援を実施します。
【重要課題】大宮通りや周辺の交通環境整備	・公共交通機関の利用を促進するとともに、拠点駐車場とぐるっとバスの連携による駐車場対策や、奈良公園周辺の通過交通削減対策等を実施します。 ・奈良公園、平城宮跡等の観光地や駅等の拠点を結ぶぐるっとバスの運行等により周遊環境を充実させます。
歴史展示政策の推進と史跡・名勝飛鳥京跡苑池の整備	・明日香エリアと奈良エリアを歴史展示の南北拠点と位置づけるとともに、両エリアでの取組を踏まえ、奈良らしい歴史展示を検討し、奈良の歴史展示力を強化します。 ・史跡・名勝飛鳥京跡苑池のメインエントランス部分を先行して整備します。
奈良の魅力の収集と効果的な情報発信	・「記紀・万葉」に関する情報を収集整理し、ホームページ、プレスリリース等により幅広く情報発信します。 ・インターネットや大型ディスプレイ等を活用します。 ・「奈良まほろば館」を活用し、首都圏で情報発信します。 ・「せんとかん」を効果的に活用します。 ・JAならけんまほろばキッチン内観光案内所でのコンシェルジュによるタイムリーな情報発信を行います。
海外からの訪問客の取り込み	・海外観光プロモーターによる切れ目のないセールス・マーケティングを行います。 ・富裕層市場を開拓します。 ・旅行商品コーディネーター及び奈良県ビジターズビューローにより着地旅行商品を造成します。 ・奈良にゆかりの深い東アジアや増加傾向にある東南アジア等ASEAN諸国を中心に、仏教や歴史文化、ゆかりなどを積極的に紹介します。 ・奈良に関心の高い欧米に、歴史・文化等に加え、食の魅力も発信します。
交通環境の充実を目指した取り組みの推進	・自転車利用促進に向けた取組（ネットワークの充実、自転車利用環境の充実、情報発信の充実等）の実施により、自転車による広域的な周遊観光を促進します。 ・観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、周遊観光を促進するための観光案内看板を整備します。 ・奈良盆地周遊型ウォークルートを造成します。
スポーツイベントを活用した誘客の促進	自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツイベントの実施を促進します。
弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
【重要課題】宿泊産業の育成、支援	・冬期の誘客キャンペーン展開を強化します。 ・特別感のある旅行商品を造成します。 ・ローラー作戦による旅行会社への積極的セールスを行います。 ・旅行エージェンツ（営業、窓口販売、企画担当）の奈良へのアテンドを行います。 ・年金ツアーの誘致や国内コンベンションの誘致強化により、団体宿泊客の誘致を促進します。

【重要課題】県営プール跡地活用プロジェクトの推進	・ホテルを核とする賑わいと交流の拠点整備に向け、ホテル以外の施設を公募選定する手続きを開始します。 ・事業用地の文化財発掘調査を進めるとともに、ホテル事業の優先交渉権者と契約を締結します。
【重要課題】中南和地域への宿泊観光客の誘致	地域の特長を活かした周遊型旅行商品を開発し、PRします。
奈良県交通基本戦略に基づく施策の推進	流入車両の総量抑制をめざし、公共交通への転換に向けた取組や、持続可能なパーク&バスライドの検討・実施等、観光トップシーズンの奈良中心市街地の交通対策を推進します。
魅力ある県産品・土産物の開発と効果的なPRの実施	・奈良ブランド製品の開発を支援し、県外(首都圏等)に向けて情報を発信します。 ・製品開発に取り組んだ事業者等を対象にフォローアップを実施します。 ・JR奈良駅アンテナショップ(奈良のうまいものプラザ)、奈良にぎわい味わい回廊でPRイベントを開催します。 ・奈良の土産物(菓子類)の充実方策を検討します。
外国人観光客が周遊しやすい環境の整備	・多言語観光案内表示を整備します。 ・県内主要観光案内所等におけるWi-Fi環境を整備します。 ・多言語通訳電話サービス(英・中・韓・仏)を導入します。 ・外国人観光交流拠点を整備します。
オフシーズン対策の推進	誘客キャンペーンやイベントの実施、旅行商品の造成等により、オフシーズンの誘客を促進します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
【重要課題】奈良公園基本戦略に基づく施策の推進	吉城園周辺地区や飛火野周辺地区等の拠点整備、歩行空間等、奈良公園の魅力を活かした誘客イベントの企画・実施等の施策を推進します。
友好提携を活用した中国、韓国との観光交流の促進	友好提携先との交流を促進し、一時的な政治情勢に左右されにくい関係を構築します。
UNWTOアジア太平洋センターと連携した国際会議の誘致	UNWTOアジア・太平洋地域委員会など、関連国際会議の誘致を促進します。

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
修学旅行の誘致促進	・国のはじまりである奈良の価値を学ぶことのできる学習教材を制作し、情報発信を充実させます。 ・班別行動が快適に行えるサポートを実施します。 ・有名社寺での夜・朝の特別メニューや体験メニューの開発に取り組みます。 ・修学旅行企画担当者研修会への補助を行います。 ・県立橿原考古学研究所の木簡ワークショップ等を盛り込んだモニターツアーを実施します。
外国人に対し、奈良の奥深い魅力を発信できる通訳ガイドの育成	奈良公園観光地域活性化総合特区の認定を受け、特区通訳案内士の資格を付与できる研修のメニューの中で、奈良公園地区におけるガイド能力を向上させます。
外国人観光客が滞在しやすい環境の整備	・外国人観光交流拠点を整備します。 ・外国人が宿泊しやすい小規模宿泊施設等の情報を発信します。

6. 平成26年度評価において見直しを行った課題、取り組み

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
海外からの訪問客の取り込み	東アジア、東南アジア、欧米からの訪問客を取り込むため、新たに海外観光プロモーターを設置し、切れ目のないセールス・マーケティングを行い、富裕層市場を開拓し、着地旅行商品を造成します。
オフシーズン対策の推進	オフシーズン(12～2月、6・7月)の宿泊客を増やすため、宿泊キャンペーンやイベントを実施します。
大宮通りや周辺の交通環境整備	大宮通りや周辺の周遊環境を充実させるため、ぐるっとバスのルートを拡充し、三条通り等でも運行します。